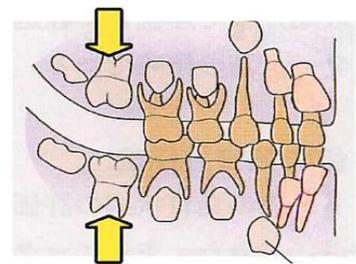


おとなの歯はいつごろ生えるの？

6歳臼歯



6歳臼歯 永久歯

永久歯（おとなの歯）は人それぞれ差はありますが、6歳ごろから生えてきます。最初に一番奥の乳歯（こどもの歯）のさらに奥のところに、第一大臼歯（6歳臼歯）という永久歯が生えてきます。先に下の前歯の乳歯が抜けて永久歯に生えかわる人もいます。そして13歳ごろには親知らず以外の永久歯が生えそろういます。



生えかわりの時期に注意すること

①生えたての永久歯は酸に溶けやすくむし歯になりやすいので、生えてきたら忘れずに歯磨きをし、フッ素入りはみがき粉も使いましょう。また、おうちの人に仕上げみがきをしてもらいましょう。歯の溝が深い場合はシーラントを歯科医院でしてもらいましょう。



シーラント

②乳歯のむし歯を放置すると、生えてくる永久歯に悪い影響がでることがあるので、治療しておきましょう。



乳歯の下には永久歯がいます

③永久歯が生えてきたのに乳歯が抜けるときは歯科医院で診てもらいましょう。



歯医者さんからのメッセージ

永久歯は一生使う大事な歯です。歯の生えかわりは特に重要な時期なので、ていねいな歯磨きと歯科医院の定期的なチェックで「8020」を目指しましょう。

8020
80歳になっても
20本以上自分の
歯を保とう